

ミュージックサーバーの試聴(4)  
—FIDATA と micro iDSD の動作テスト(2)—

1. はじめに

[前報\(2\)](#)では、AVAC 大阪梅田店において FIDATA と micro iDSD の動作テストを行い、11.2MHzDSD までの再生に概ね問題を認めず、音質的にも大変満足いく結果でしたが、この組み合わせで、アプリの Kinsky で DSD 音源再生ができない問題が発生しました。この問題の解決法の確認と、それ以降に発生した問題の対応のために再度 AVAC 大阪梅田店を訪問してきました。今回、micro iDSD は使用していませんが、前報(2)からの流れで継続の標題にしています。

2. 解決すべき問題

2-1) アプリの Kinsky での DSD 音源再生

前報(2)のとおり、Kinsky で DSD 音源再生ができず、Lumin アプリで再生ができたことの原因追及です。

2-2) 「LAN DISK コネクト」と「Magical Finder」のインストールと動作確認

その後、NAS である FIDATA の設定には PC では「LAN DISK コネクト」、iPhone などでは「MagicalFinder」のインストールが必要なことが分り、その動作確認と操作法の習得、設定条件の確認が必要になりました。このようなことは、これまでの試聴会などでは一切触れられていませんでした。

2-3) モード設定

ルーターと FIDATA の接続のモード設定に「AP モード」と「ルーターモード」の選択があり、当日は「AP モード」で実施しましたが、メーカー推奨は「ルーターモード」であり、その確認が必要になったことです。

2-4) マニュアルとその使用方法

上記のことから、マニュアルをしっかりと読むことが必要になってきましたが、DL サイトの探し方から始めて、そのマニュアルが散在していて、どの段階でどのマニュアルを見てどのように条件設定すればいいのか分かりにくいことなどが明らかになってきましたので、質問事項を準備して再度実機での確認を行うことにしました。

3. 問題解決の経過

3-1) アプリの Kinsky での DSD 音源再生

Kinsky で DSD 音源再生ができない問題については、メーカーへの質問を行ったところ、販売店経由で回答があり、当日、「DoP 設定」→「OFF」にしていたのが間違

いで、「ON」にすべきであったということでした。また Lumin アプリで「DoP 設定」→「OFF」でも DSD 音源再生ができたのは LUMIN アプリには独自にライブラリー内を検索して曲情報を作る機能があるからだそうです。結果として、今回はうまく行きましたが、こういった情報が販売店に的確に伝達されていなかったということです。メーカーのサイトを見ていると、DSD 再生は DoP によると書かれていたり、DELA では Kinsky で問題なく DSD 再生ができるとの他店の情報があって不思議に思って質問してみたのですが、Lumin アプリの結果との違いで迷ってしまいました。こういったアプリの詳細情報がほとんどありませんので、的確に伝えてほしいものです。

### 3-2) 「LAN DISK コネクト」と「Magical Finder」のインストールと動作確認

「LAN DISK コネクト」をインストールした店の PC を準備してもらい、また、「Magical Finder」を予めインストールした iPhone 6 Plus を持参して、実機で設定方法の教示を受けました。特に必要なことは、「DoP 設定」→「ON」にすることと、Kinsky など汎用アプリを使用するために、「Net Work Render 設定」→「Open Home」にすることでした。その他の設定項目も意味が不明でしたので、すべてについて確認が必要でした。

### 3-3) モード設定

ルーターと FIDATA の接続のモード設定に「AP モード」と「ルーターモード」の選択があり、前報(2)においては、店の判断で「AP モード」で実施しましたが、メーカー推奨は「ルーターモード」であり、その確認が必要になったことです。また、自動的に設定できるか、手動で行うかの問題もあります。ルーターの SW を Auto にしておき、正しく接続すれば自動的に「ルーターモード」になるということでしたが、店の事前チェックでは、IO データ機器のルーター WN-AX116/GR では、このあたりの設定が不安定ということで、Buffalo の旧型ルーターが準備されていて、LAN ケーブルの接続、ルーターの SW の位置、モード設定の確認を行いました。このようにメーカー推奨機器でメーカー推奨条件が設定しにくいということは困ったことです。このため、再度 Buffalo の最新ルーターを準備してもらって接続テストを行うことにしました。

### 3-4) マニュアルとその使用方法

事前に検索して散在しているマニュアルを印刷し、どの段階でどのマニュアルを見てどのように条件設定すればいいのかを確認していきました。

どの段階でどのマニュアルを見てどのように条件設定すればいいのかの指示がないこと、印刷すると字が細かくて読めないマニュアルがあること、サイトには実際に使用しないマニュアルもあって非常に混乱しました。つまり、PC 周辺機器の NAS やネットワークに通暁していないと、マニュアルすら使えないということです。

以上から、どの段階でどのマニュアルを見てどのように条件設定すればいいのか、店の方には迷惑をかけますが、質問事項を整理して詳しく教えてもらうことにしました。

#### 4. まとめ

事の本質は、FIDATA はオーディオ機器という側面と NAS であるという PC 周辺機器の側面があり、「パソコンマニアにオーディオ機器を売る」という側面と「オーディオマニアに PC 周辺機器を売る」という側面がありますが、現状は前者のスタンスを脱していないように見受けられることです。同様の事情は他店において他メーカーに関しても聴きました。オーディオ業界に参入した以上、後者のスタンスでビジネスを行うべきと考えます。

また、これに関連して、マニュアルや販売店への情報提供に一考の余地があると思います。マニュアルがあちこちに散在しており、IT 技術者の独りよがりのものように見え、ユーザーに読ませる努力を怠っているように思われます。マニュアル使用のためのマニュアル、つまりマスターガイドが必要であり、読みやすいマニュアル、設定条件の意味の説明が必要です。筆者自身が現役時代に製造業の技術部門の責任者であり、工場職員にマニュアルを提供し、教育を行う立場にあったことから、この問題を強く訴えておきたいと思います。また、必要な準備作業は、デモにおいて資料を配るとかの工夫も必要です。アプリについての使用方法の情報提供も少なくとも販売店には的確に伝えておいて欲しいと思います

販売店においては、上記のとおり「オーディオマニアに PC 周辺機器を売る」という立場から、メーカーとのコミュニケーションを十分に行った上で、確信をもってユーザーに情報提供を行ってほしいと思います。

前報(2)の動作テストで、せっかく音質については満足したものの、このように入り口で停滞してしまうことは非常に残念なことです。

以上